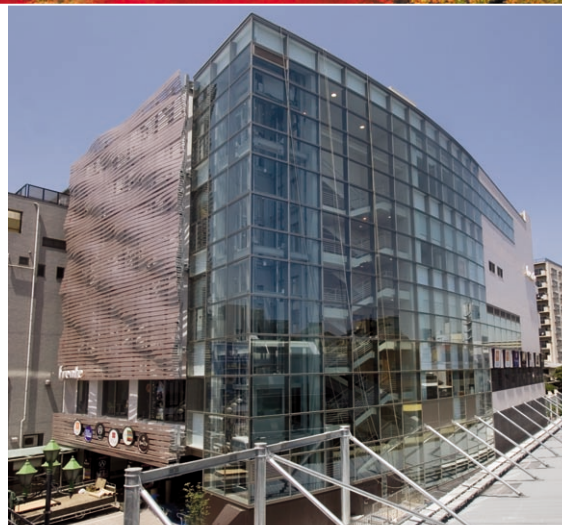


けいおう

INVESTOR'S GUIDE

2007年度中間決算報告
2007.4.1 ~ 9.30

2007年度
経営計画進捗状況を中心に



KEIO 京王

「信頼のトップブランド」を目指し さらなる「安全の確保」への取り組みと、 「沿線価値向上」への施策を着実に展開します

京王電鉄株式会社 代表取締役社長 加藤 真



連結中間純利益は137億円を計上、
一株あたりの中間配当金は3円に

平素は、京王グループをご愛顧いただきまして、まことにありがとうございます。

当上半期の京王グループは、京王電鉄を中心に各事業セグメントにおいて着実かつ効率的な事業活動を展開し、引続き収益力の維持向上に努めてまいりました。この結果、連結中間純利益は137億円、京王電鉄における中間純利益は104億円となりました。

当期の中間配当金につきましては、去る10月25日の取締役会において、1株につき3円と決定いたしました。今後も、引続き中間配当金を含む年間配当金を6円とすべく、安定的な利益の確保に努め、この配当水準を維持できるよう努力する所存でございます。

「安全の確保」と「沿線価値向上」
に継続して取り組みます

京王グループでは、グループの企業理念である「信頼のトップブランド」を確立するために、その根幹である「安全の確保」への取り組みを継続的に進めております。特に鉄道事業における安全性の確保は、最大の使命であり、最高のサービスであるとの信念にもとづき、「運輸安全マネジメント」を推進し、経営トップから現場まで一丸となって安全を最優先する意識を高めております。設備面においても自動列車制御装置(ATC)の導入工事、調布駅付近連続立体交差事業や地下駅火災対策など鉄道事業の安全性向上投資に274億円(対前年比44%増)を投入し、さらなる安全性の向上を図っております。

また、「住んでもらえる、選んでもらえ

る沿線づくり」を目指し、京王沿線が将来にわたり活力を維持できるサイクルをつくりあげるため、来春の運営開始に向け高幡不動や京王多摩川での子育て支援施設の建設を進めております。このほか、生活サポートサービスをさらに充実させていくなど、「沿線価値の向上」の実現に向けた施策を着実に展開しております。

引続き、施設のバリアフリー化や環境経営などにも積極的に取り組むとともに、内部統制の整備といったコーポレート・ガバナンスの一層の強化を図ってまいります。

今後もこれらの施策に着実に取り組むことで「信頼のトップブランド」の確立を目指してまいりますので、皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2007年11月

1 交通事業者として 鉄道・バスの安全性と利便性の 向上に取り組んでいます

調布駅付近連続立体交差事業の推進
2012年度の完成を目指し、トンネル掘削機(シールドマシン)の発進立抗の掘削や線路の仮受けを行うなど、引続き線路下にトンネルを構築するための準備を進めました。



線路の仮受け工事

自動列車制御装置(ATC)の導入
2010年度までに京王線・井の頭線全線へ導入するため、国土交通大臣への認可申請を行うとともに、地上装置設置のための準備工事を進めました。

自然災害等への対応強化
地震計などを増設するとともに、観測データを一元管理できる新たな「気象情報システム」と気象庁の緊急地震

速報を活用した「早期地震警報システム」を10月に導入したほか、新宿駅、幡ヶ谷駅において引続き地下駅火災対策を進めるなど、自然災害等への対応を一段と強化しました。



気象情報システムの概念図

「運輸安全マネジメント」の推進
鉄道教習所を改修し、実際の現場と同様の設備を用いて知識や技能を習得するための施設を充実するとともに、それらを活用した新たなプログラムによる社員教育を開始しました。

また、バス事業では京王電鉄バス



鉄道教習所 ホーム訓練室

グループにおいて、運転訓練車を導入し、運転操作や安全確認の実施状況などを収集・分析して個別に指導する教育を、新たに開始しました。



運転訓練車

バリアフリー化の推進

エレベーター・エスカレーターや駅南北を行き来できる自由通路を備えた橋上駅舎への改良工事を西永福駅と桜上水駅で引続き進めました。



駅改良工事中の西永福駅

バス事業では、ノンステップバスを43両導入し、路線バス全車両の97.5%がバリアフリー対応となりました。

2007年度京王グループ経営計画進捗状況

サービスの向上

座面の高さや形状が異なる新型ベンチを明大前駅など26駅に導入しました。

また、お客様からのお問合せやご意見・ご要望を承る「京王お客さまセンター」を開設しました。



新型ベンチ

2 「住んでもらえる、選んでもらえる沿線づくり」を目指し沿線価値の向上に取り組んでいます

駅に直結する商業施設の拡充

駅に直結する商業施設の拡充を進めており、ファッション性の高いテナントが中心の「フレンテ」と、日常生活にご利用いただけるテナントで構成される「リトナード」を展開しています。

5月に「フレンテ明大前」を、7月に「フレンテ南大沢」をそれぞれオープンし、利便性の向上を図りました。



フレンテ南大沢

これらの商業施設には、グループ店舗も出店しています。

沿線における優良な住居系賃貸物件の供給

デザイナーズマンション「Hi-ROOMS 明大前」、有料老人ホーム「京王八王子元本郷ビル(グループ外に賃貸)」の建設を進めています。



京王八王子元本郷ビル(完成予想図)

お客様の潜在的なニーズに応えるサービスの提供

高幡不動地区をモデル地区とした生活サポートサービスのトライアルを開始しています。京王高幡ショッピングセ

ンター内に「京王ほっとネットワーク」を開設し、宅配サービスなどを実施していますが、11月には住まいのサポートサービスを開始するなど、暮らしに役立つサービスを提供しています。多様な世代が共存する街づくり

高幡不動駅前において「子育て支援マンション」の建設を進めており、竣工は2008年3月の予定です。

また、4月に設立した、京王子育てサポートでは、沿線での保育施設の運営や子育て関連サービスの提供を行います。2008年3月には、保育所「京王キッズプラッツ多摩川」を、2008年4月には、「京王キッズプラッツ高幡」を、それぞれ開設する予定です。

さらに、「有限責任中間法人 移住・住みかえ支援機構(JTI)」に参画し、シニア世代および子育て世代の住みかえ事業にも取り組んでいます。PASMOの展開と京王パスポートカードの連携

2007年3月のICカード乗車券「PASMQ(パスモ)」導入にあわせて、オートチャージサービスをスタートさせたほか、鉄道・バスのご利用などに応じてポイントがたまる、乗りものポイントサービスもスタートさせました。

バス事業では、PASMOの利用エ

リアの拡大を順次進め、9月には、京王線・井の頭線沿線全エリアの路線

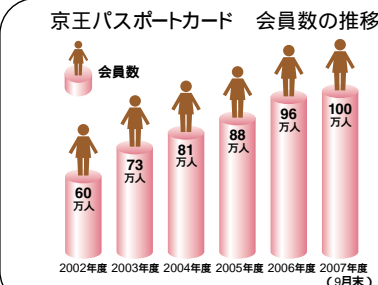


PASMO利用エリアが拡大した路線バス

バスへの導入を完了しました。

また、PASMO電子マネーの導入準備を進めており、駅売店や駅構内の自動販売機などでのサービス開始は2008年3月を予定しています。「京王パスポートカード」では、京王グループ共通ポイントサービスの導入など、これまでも積極的な会員獲得に努めてきましたが、

PASMOとの連携効果もあり、9月末において、会員数が100万人を突破しました。



グループ事業 出店・改装カレンダー

京王沿線内外での事業の拡大・競争力強化を図るため、流通業、レジャー・サービス業を中心として新規出店や既存店舗の改装を鋭意進めています。

2007年4月	・「京王百貨店」新宿店 中地階食品フロア改装 ・「スイーツモード」(1) 仙川店オープン
5月	・「フレンテ明大前」オープン 「啓文堂書店」ベーカリー「プレグラス」カレーショップC&C「フラワーショップ京王」売店「A LoT」 ・「京王プラザホテル札幌」改装 プッフェレストラン「グラスシーズンズ」オープン
7月	・「フレンテ南大沢」オープン 「啓文堂書店」ミニコンビニ「K-Shop」スイーツモード「ベーカリー ルバ」京王観光
9月	・「京王百貨店」新宿店 6階家庭・文化用品フロア改装
10月	・「京王プラザホテル(新宿)」改装 本館38階、39階改装「プラザプレミア」(2) 増室
12月	・京王ストア「キッチンコート」東中野店オープン<予定>(3)
2008年春	・「京王百貨店」新宿店 5階紳士服フロア改装<予定> ・「京王プレッソイン」茅場町、五反田オープン<予定>(4)

(1)「スイーツモード」月替わりで話題のブランドスイーツを販売する店舗です
(2)「プラザプレミア」従来のデラックスタイプよりもワンランク上のカテゴリーとなる、上質感を追求した客室です
(3)東中野にオープンする商業施設「ユニゾンモール」内の一部を賃借して出店するものです
(4)池袋については2009年春にオープンの予定です



京王百貨店 新宿店 中地階食品フロア



京王プラザホテル(新宿) プラザプレミア



キッチンコート 東中野店 (完成予想図)

2007年度中間期財務ハイライト

決算のポイント

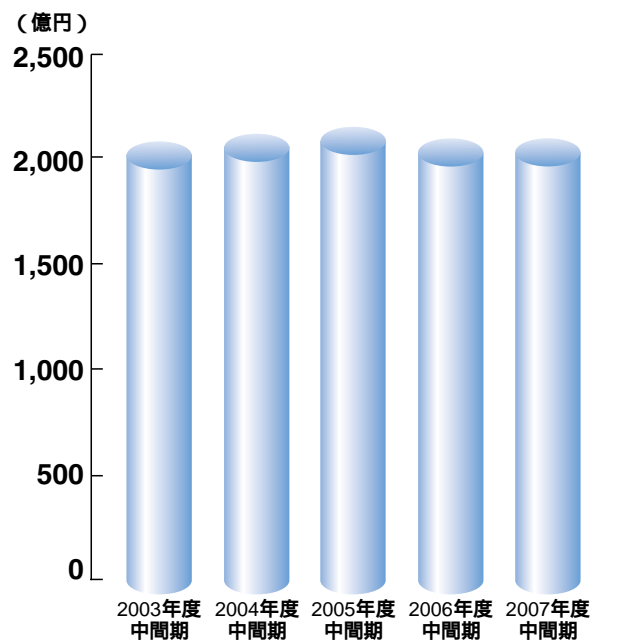
POINT ① 連結営業収益が前年同期並みの2,085億円となりました。

不動産販売業が前年同期に大型物件の販売収入を計上したことにより減収となりましたが、運輸業、流通業などで増収となりました。

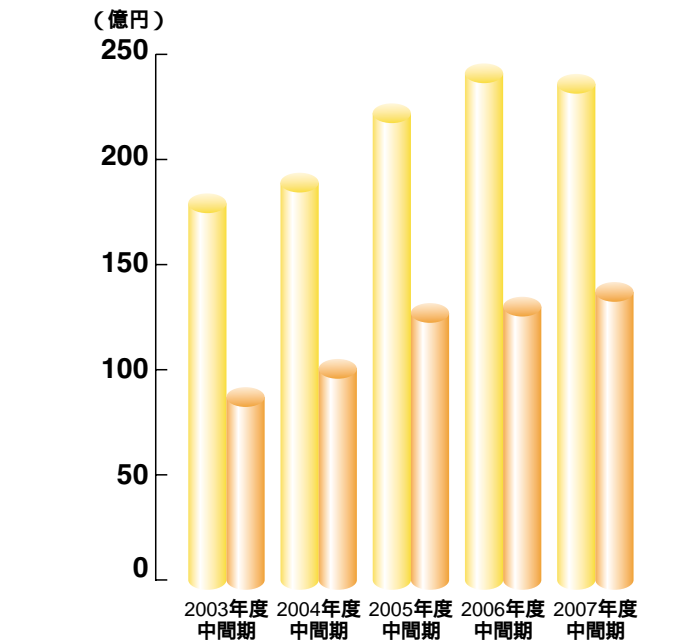
POINT ② 連結中間純利益が137億円(前年同期比5.0%増)となりました。

連結営業利益が減益となりましたが、支払利息の減や特別損益の改善などにより、前年同期に比べ6億円の増益となりました。

連結営業収益の推移

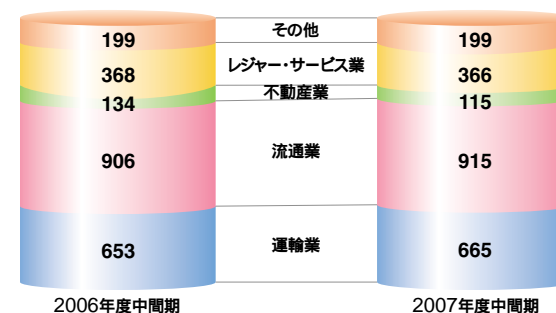


連結営業利益・連結中間純利益の推移

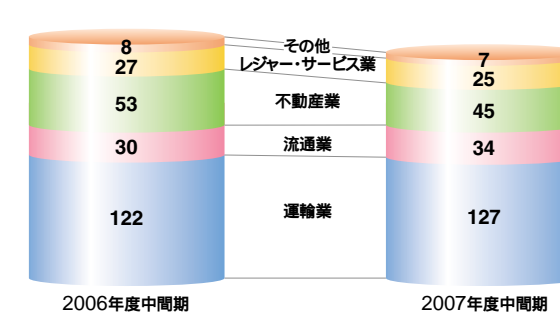


2007年度中間期の業績 (事業セグメント別営業収益・営業利益)

事業セグメント別営業収益 (億円)



事業セグメント別営業利益 (億円)



運輸業

営業収益 665億円 (+12億円)
営業利益 127億円 (+5億円)

- 京王電鉄(鉄道)
- 京王電鉄バスグループ
 - 京王電鉄バス
 - 京王バス東
 - 京王バス中央
 - 京王バス南
 - 京王バス小金井
- 西東京バス
- 多摩バス
- 京王自動車
- 京王運輸
- 御岳登山鉄道

鉄道事業の輸送人員が、沿線での大規模マンション建設の進捗などにより増となったほか、バス事業でも増収となったことなどにより、増収増益となりました。

流通業

営業収益 915億円 (+8億円)
営業利益 34億円 (+3億円)

- 京王百貨店
- 京王ストア
- 京王書籍販売
- 京王リテールサービス
- 京王電鉄(ショッピングセンター)
- 京王バスポートクラブ
- 京王アートマン
- 京王食品
- 京王グリーンサービス
- 京王商事
- エリート
- 京王友の会

ストア業で前期に開業した店舗が通期稼働したことや、書籍販売業の新店効果などにより、増収増益となりました。

不動産業

営業収益 115億円 (19億円)
営業利益 4.5億円 (8億円)

- 京王電鉄(開発)
- 京王不動産
- 京王地下駐車場

不動産賃貸業で増収となりましたが、不動産販売業で前年同期に大型物件の販売収入を計上したことなどにより、減収減益となりました。

レジャー・サービス業

営業収益 366億円 (1億円)
営業利益 2.5億円 (1億円)

- 京王プラザホテル
- 京王プラザホテル札幌
- 京王プレッソイン
- 京王観光
- 京王エージェンシー
- 京王レクリエーション
- レストラン京王
- 京王コスチューム

広告代理業で受注増により増収となりましたが、旅行業で団体旅行の減などにより減収となりました。

その他

営業収益 199億円 (+0億円)
営業利益 7億円 (0億円)

- 京王設備サービス
- 京王重機整備
- 東京特殊車体
- 京王建設
- 京王電鉄(情報通信)
- 京王ITソリューションズ
- 京王アカウンティング
- 京王ビジネスサポート
- 京王ユース・プラザ
- 京王シンシアスタッフ
- 京王子育てサポート
- 新東京エリート

車両整備業で特殊車両整備の大型契約の終了により減収となりましたが、建築・土木業で大型物件の完成などにより増収となりました。

印は、持分法適用会社です。なお、事業セグメント分類上、京王電鉄が重複して含まれています

中間連結財務諸表 2007年度 中間期

中間連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	前 期 (2007年3月31日)	当中間期 (2007年9月30日)
【資産の部】		
流動資産	106,687	96,305
固定資産	541,473	525,486
資産合計	648,161	621,791
【負債の部】		
流動負債	172,156	168,290
固定負債	227,029	203,455
特別法上の準備金	2,346	1,173
負債合計	401,531	372,918
【純資産の部】		
株主資本	212,125	223,977
評価・換算差額等	34,504	24,895
純資産合計	246,629	248,872
負債純資産合計	648,161	621,791

POINT 資産合計の減少(△26,369百万円)
投資有価証券の時価評価による減などにより、減少しました。

POINT 負債合計の減少(△28,612百万円)
社債の償還による減などにより、減少しました。

POINT 営業活動によって得られたキャッシュ・フローの増加(+6,082百万円)
分譲マンションの販売代金回収や法人税等の支払額の減少などにより、増加しました。

POINT 投資活動に使用されたキャッシュ・フローの減少(△7,212百万円)
有形固定資産の取得による増加がありました。前年同期に有価証券の取得による支出があり、減少しました。

POINT 財務活動によるキャッシュ・フローの減少(△37,113百万円)
社債の償還に加え、前年同期に社債の発行があったことなどにより、差引き減少しました。

中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	前中間期 (2006年度中間期)	当中間期 (2007年度中間期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,541	33,624
税金等調整前中間純利益	22,307	23,166
減価償却費	14,551	14,397
その他	9,317	3,938
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 28,152	△ 20,934
有形固定資産の取得による支出	19,434	26,908
その他	8,717	5,974
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,009	△ 20,103
借入金・社債等の純増減額	18,901	18,204
配当金の支払額	1,853	1,852
その他	38	46
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	2
現金及び現金同等物の増減額 ⁽¹⁾	16,400	△ 7,410
現金及び現金同等物の期首残高	38,802	43,516
現金及び現金同等物の中間期末残高 ⁽²⁾	55,203	36,105

(1) + + +
(2) +

中間連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	前中間期 (2006年度中間期)	当中間期 (2007年度中間期)
営業収益	208,498	208,505
営業費用	184,346	184,858
営業利益	24,152	23,647
営業外収益	1,240	1,254
営業外費用	3,127	2,500
経常利益	22,265	22,401
特別利益	1,597	2,275
特別損失	1,555	1,511
税金等調整前中間純利益	22,307	23,166
法人税、住民税及び事業税	10,606	12,880
法人税等調整額	1,397	3,466
中間純利益	13,099	13,752

(備考)記載の金額については、単位未満の端数を切り捨てて表示しています

中間連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計		
2007年3月31日残高	59,023	42,022	126,389	△ 15,310	212,125	34,504	246,629
中間連結会計期間中の変動額							
剰余金の配当			1,852		1,852		1,852
中間純利益			13,752		13,752		13,752
自己株式の取得				62	62		62
自己株式の処分				12	15		15
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)						9,609	9,609
中間連結会計期間中の変動額合計	-	3	11,899	49	11,852	9,609	2,243
2007年9月30日残高	59,023	42,025	138,288	△ 15,360	223,977	24,895	248,872

京王電鉄(個別)中間財務諸表

中間貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	前 期 (2007年3月31日)	当中間期 (2007年9月30日)
【資産の部】		
流動資産	41,229	37,416
固定資産	501,449	485,082
資産合計	542,679	522,498
【負債の部】		
流動負債	129,596	154,507
固定負債	221,595	178,324
特別法上の準備金	2,346	1,173
負債合計	353,538	334,004
【純資産の部】		
株主資本	155,558	164,090
評価・換算差額等	33,581	24,402
純資産合計	189,140	188,493
負債純資産合計	542,679	522,498

中間損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	前中間期 (2006年度中間期)	当中間期 (2007年度中間期)
営業収益	60,054	60,002
営業費用	42,587	42,145
営業利益	17,466	17,857
営業外収益	774	829
営業外費用	3,038	2,594
経常利益	15,203	16,092
特別利益	1,363	1,864
特別損失	1,098	519
税引前中間純利益	15,467	17,436
法人税、住民税及び事業税	7,470	9,510
法人税等調整額	1,156	2,505
中間純利益	9,153	10,431

会社概要

会社設立
 1948年6月1日
本社所在地
 〒206-8502 東京都多摩市関戸一丁目9番地1
資本金
 590億23百万円
従業員数
 2,276名

役員一覧

代表取締役社長	加藤 隼
代表取締役専務	下村 良太
常務取締役	松木 謙吉
常務取締役	田中 茂生
常務取締役	永田 正
取締役	林 静男
取締役	宮地 徳文
取締役	狩野 俊昭
取締役	川杉 範秋
取締役	早崎 博
取締役	石橋 三洋
取締役	宮田 洋一
取締役	島倉 秀市
取締役	奥島 博之
取締役	内藤 雅浩
取締役	五味 保雄
取締役	志村 康洋
取締役	鈴木 豊明
常動監査役	黒岩 法夫
常動監査役	川嶋 一弘
監査役	鈴木 光春

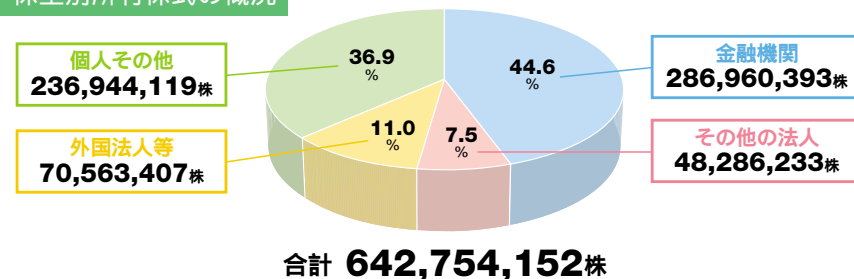
株式の状況

発行可能株式総数 1,580,230,000株 **株主数** 38,339名(前期末比1,172名増)
発行済株式総数 642,754,152株
大株主

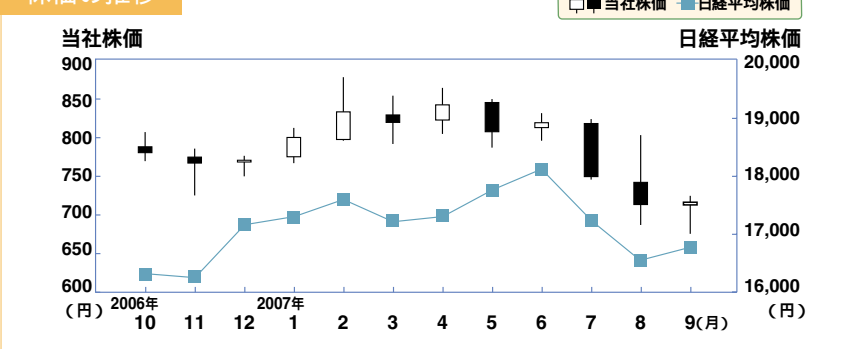
株主名	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
日本生命保険相互会社	44,948	6.99
第一生命保険相互会社	31,750	4.94
太陽生命保険株式会社	29,310	4.56
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	21,383	3.33
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	20,163	3.14

当社は自己株式を25,175千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております

株主別所有株式の概況



株価の推移



京王の株主優待制度

1,000株以上の全株主様に電車全線優待乗車券とグループ会社優待割引券をお送りします。

株主優待乗車券 ご所有株式数	1枚1乗車有効の 電車全線優待乗車券	優待バス
1,000株以上 30,000株未満	1,000株につき 4枚 (年間8枚)	—
30,000株以上 57,000株未満	30枚 (年間60枚)	電車全線優待バス 1枚
57,000株以上	40枚 (年間80枚)	電車・バス全線優待バス 1枚

ご優待内容
 京王百貨店 京王プラザホテル チェーン 京王観光 京王自動車 京王運輸
 京王アートマン 京王グリーンサービス フラワーショップ京王 京王食品 ベーカリーショップ 京王 BAKERY&CAFE 京王 京王不動産

京王電鉄バス、京王バス東、京王バス中央、京王バス南、京王バス小金井各社の路線をご利用いただけます。
 なお、高速バス・空港直行バス・深夜急行バス等特殊バス、西東京バス・多摩バスではご利用いただけません

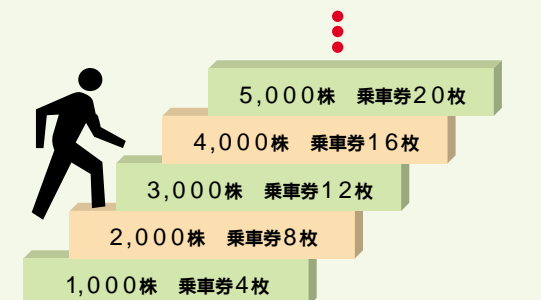
株主優待についてのお問合せ
 京王電鉄 総務部総務担当 ☎042-337-3114

年2回発行
 9月30日現在の株主の皆様 **11月末送付**
 有効期間12月～翌年5月
 3月31日現在の株主の皆様 **5月末送付**
 有効期間6月～11月
 株式購入の際は、お近くの証券会社まで

株主優待のポイント

その1. 電車全線優待乗車券

1,000株 最小流通単位から株主優待をご利用いただけます。
1,000株 買い増すごとに乗車券が4枚増えます。



その2. 優待バス

半年の有効期間内、何度でもご利用いただけます。
 優待バスご持参の方は、株主様以外の方でもご利用いただけます。
 さらに乗車券も発行いたします。

3万株以上 電車全線優待バス + 乗車券 30枚 (年間60枚)	5万7千株以上 電車・バス全線優待バス + 乗車券 40枚 (年間80枚)
---	--

沿線風景



高尾山

高尾線の終点の高尾山口駅から、高尾登山ケーブルなどを利用して手軽にハイキングが楽しめる山として広く知られている高尾山(標高599m)。

6つある自然研究路には、暖帯林と温帯林の植生に恵まれた自然豊かな森と、歴史を感じさせる高尾山薬王院有喜寺などがあり、訪れるお客様を癒してくれます。さらに「都心から交通の便がよく、大都市近郊に豊かな自然が溢れている」点が評価されて、フランスのタイヤメーカー「ミシュラン」が発売する日本版の旅行ガイド「MICHELIN Voyager Pratique Japon」の中で、最高評価にあたる三つ星もいただきました。

これからの季節には、12月の冬至前後に富士山の山影に沈む夕陽が形づく「ダイヤモンド富士(写真)」を山頂から眺めることができるほか、正月には初日の出や高尾山薬王院への初詣のお客様で賑わいます。

【交通】
高尾山口駅下車
(ケーブルカー・リフトあり)



表紙の言葉

表紙は、紅葉に染まる高尾線の高尾～高尾山口間を走行する8000系車両と、本年5月に開業した複合商業施設「フレンテ明大前」です。

高尾線は、1967(昭和42)年に開業して以来、都民のオアシスとして知られる高尾山の玄関口まで行くことができる唯一の路線として、また、沿線地域の皆様の通勤・通学の足としての役割を果たしています。本年10月1日に開業40周年を迎えました。

「フレンテ明大前」は、明大前駅をご利用のお客様や周辺にお住まいのお客様を中心に、20代～30代の女性をメインターゲットとした複合商業施設です。フィットネスクラブをはじめ、「啓文堂書店」やファッション・雑貨店、飲食店など14店舗で構成されています。

株主メモ

1. 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
2. 定時株主総会 6月
3. 基準日 定時株主総会 3月31日
(株主確定日) 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
4. 公告の方法 当社ホームページに掲載します
(www.keio.co.jp/kigyo/ir/koukoku.html)
5. 株主名簿管理人 住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行証券代行部

電話照会先 住所変更等 0120-175-417
用紙のご請求
その他のご照会 0120-176-417

けいおう

INVESTORS GUIDE
2007年11月発行

[お問合せ] 広報部

☎042-337-3106

[京王ホームページ]

www.keio.co.jp/

発行/京王電鉄株式会社

〒206-8502 東京都多摩市関戸1-9-1

